

支え合って楽しく仲良く。二世帯住宅

二世帯住宅は理想のスタイル。家族の絆やつながりが求められる今だからこそ

親の敷地に建てる二世帯住宅は土地価格が高騰したバブル期に数多く建てられましたが、バブル後の土地価格下落に伴ない減少の傾向にありました。ところが、近年再び二世帯住宅が増加傾向

にあります。同居スタイルも、長男夫婦との同居だけでなく娘夫婦との同居や未婚の兄弟姉妹との2.5世帯同居など時代とともに進化しています。二つの棟をもつ二世帯住宅を紹介しましょう。



親世帯と子世帯で棟を分け、二つをつないだ美しい外観フォルム



上空から見た完成建物



土間を境に奥の親世帯と手前の子世帯に分けた理想的な距離感



親世帯2階
多彩なニーズを満たす自由空間



壁と天井に和紙を貼った親世帯1階リビング

二世帯で暮らすメリット

日常生活での安心

- 多忙な時には家事や育児を頼める
- 留守中の荷物受取りや急な雨の時も安心
- 旅行や出張に安心して出かけられる
- 力仕事やパソコン操作を助けてもらう

心の充実

- 一緒に暮らす安心感
- 急な病気の時も心強い
- 孫とふれあい、生活に張り合いがある
- 子どもに思いやりやいたわりの心が育つ
- 文化や礼儀作法の継承

経済面の負担減

- 土地取得資金、建築費用を抑える
- 融資や税の優遇措置を利用できる
- 庭や設備を共有して生活費の節減



デメリット

- プライバシーが守れない
- 実家の親や友人を招きづらい
- 義理の両親との価値観の違い
- 生活リズムの相違
- 子世帯への過干渉
- 家づくりの意見の相違
- 資金援助者の意見が強く不満
- 将来、転売しにくい
- 需要が少ないため売却に不利
- 他の相続人とのトラブルが生じやすい

お互いが干渉しすぎず、甘えすぎず、無理をしないことが二世帯で未永く楽しく暮らす秘訣です。

半融合型二世帯住宅で快適に暮らす



若いお父さんが愛車の手入れにバイクの修理



二つの棟をつなぐ2階バルコニー



森林浴みたい心地よい子世帯の寝室



自然素材に包まれた健康空間



1f



左右で世帯を分け、玄関・浴室洗面室は共用の半融合型二世帯住宅です。中央の玄関扉を開けると広い土間、正面に坪庭が見えます。右側の親世帯1階リビングの床板は桧、壁と天井には和紙を貼りました。障子越しに入る柔らかな光と内装材の和紙があいまって、上品な空間を作り出しています。2階には和室とホビールーム。セカンドライフをゆったり楽しむ空間です。



2f

左側の子世帯は土間から上がる杉の床板のLDK。壁は漆喰壁で天井は杉の踏み天井。杉の香りが広がり、親世帯の桧の空間とはひと味違います。インナーガレージとの境の障子をあげると、いつも愛車と過ごせるガレージリビングに早変わり。2階は多目的ホールに寝室と子ども室。階高をあえて低く抑え、心地いい空間を創りました。



土間の奥に緑の坪庭が見える



木と石と緑と土と太陽と自然の恵みのアプローチ



和でも洋でもなく区別を超えた親世帯の寝室

1階	103.51㎡ (31.31坪)
2階	79.50㎡ (24.05坪)
計	183.01㎡ (55.36坪)

今月の「雨楽な家」 広島県・F様邸

1階でのびのび暮らし 2階を賃貸に。収益をもたす賢い家



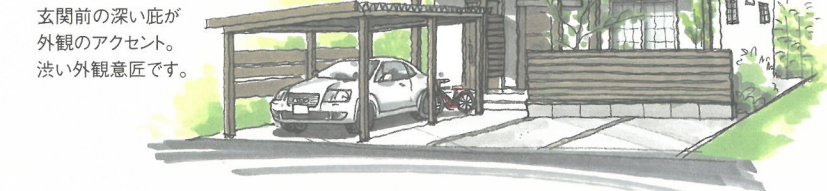
1階の居住空間はダイニングの吹き抜けから陽ざしが舞いおりて桧の香りと光いっぱいの温もりゾーンです。趣味は和食器コレクション。2階を賃貸にして楽々スマートに暮らします。



客間としても上質な空間。
木の香りに包まれます。



吹き抜けから注ぐ光が心地よさをサポート。



玄関前の深い庇が
外観のアクセント。
渋い外観意匠です。